

# 各国特許庁及び特許関連機関が提供する無料で利用可能な特許情報について

—トルコ特許庁・チェコ特許庁・ウクライナ特許庁—

株式会社日立技術情報サービス 特許情報部調査主幹 **小川 裕子**

**PROFILE**

元オルガノ(株)、2006年4月(株)日立技術情報サービスに入社、特許情報統括センタにて特許情報の分析・解析等の業務に従事。(社)情報科学技術協会 OUG特許分科会会員

## 1 はじめに

Japio YEAR BOOK への連載は8年目を迎えた。毎年海外の特許庁に関する情報を提供してきた。当初は日本特許庁を初め先進国の特許庁における特許情報検索サービスや権利情報の提供などが中心であったが、序所に新興国の特許庁でも特許情報の提供が開始された。現在多くの新興国で特許情報の提供が行われている。新興国の特許情報については欧州特許庁の DOCDB (INPADOC) や商用データベースへの収録も増加しつつある。しかし、権利情報の提供まで行っている特許庁は未だ少ない。その中で今回は特許情報と権利情報の双方を提供している、トルコ特許庁、チェコ特許庁、ウクライナ特許庁について解説をする。

今回紹介する特許庁は以下の特許庁である。

1. トルコ特許庁
2. チェコ特許庁
3. ウクライナ特許庁
4. まとめ

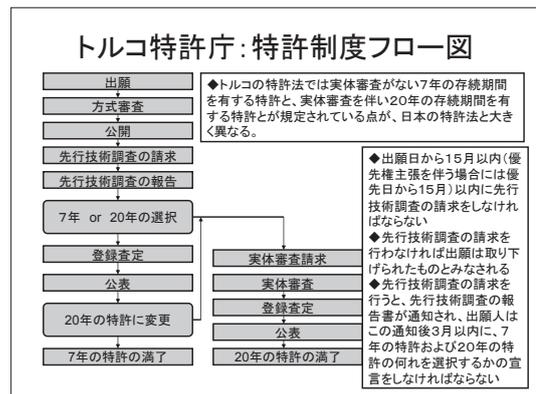
## 2 トルコ特許庁

近年、BRICs について注目されている新興国が VISTA でありその中の一カ国がトルコ共和国である。注目されている要因は JETRO によれば「①十分な労働力及び②豊富な資源という急成長を支える基盤を有している。そしてこれらの基盤に、③外国資本の流入によ

る生産力の向上という要因が加わることにより、急激な経済成長が成し遂げられていると考えられる」ということである。外国資本が投入される条件の一つに特許制度がしっかりしているということがあると思う。海外の企業でも安心して産業活動が行えるということである。

トルコの特許出願は1995年から一貫して増加している。2010年における出願件数は約3250件である。トルコの特許法では実体審査のない7年の存続期間を有する特許と、実体審査を伴い20年の存続期間を有する特許とが規定されている点が、日本の特許法と大きく異なる。当初7年の特許を選択しても後から20年の特許を再選択し実体審査を受けることで存続期間を変更することが可能である。

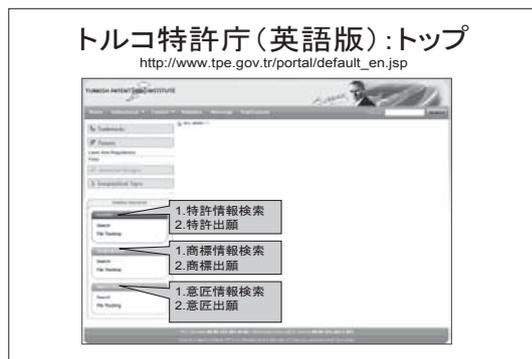
(トルコ特許庁 図1を参照)



トルコ特許庁 図1

トルコ特許庁には英語版の画面も準備されており特許・商標・意匠に関するデータベースがある。

(トルコ特許庁 図2を参照)



トルコ特許庁 図2

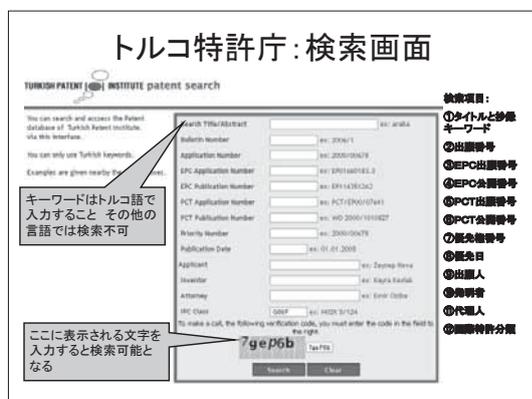
検索画面のインターフェースは英語だがキーワード等はトルコ語で入力する必要がある。

検索項目は以下の通り。

- ①キーワード (タイトルと抄録)
- ②出願番号
- ③EPC出願番号
- ④EPC公開番号
- ⑤PCT出願番号
- ⑥PCT公開番号
- ⑦優先権番号
- ⑧優先日
- ⑨出願人
- ⑩発明者
- ⑪代理人
- ⑫国際特許分類

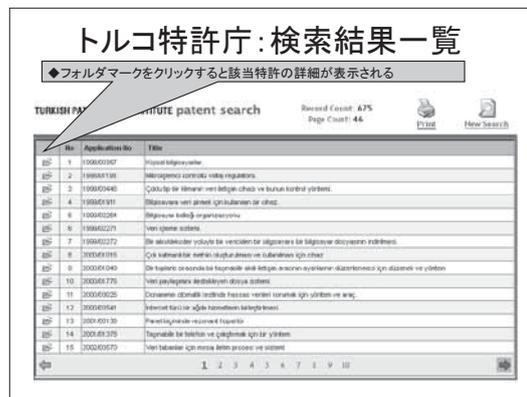
また、検索項目を入力して実際に検索する場合はコードを入力してから検索する必要がある。

(トルコ特許庁 図3を参照)



トルコ特許庁 図3

さらに、検索結果から1件ごとの特許に関する情報としては、書誌・抄録だけでなく、経過情報や年金納付状況などの権利情報を確認することができる。(トルコ特許庁 図4～図6を参照)



トルコ特許庁 図4



トルコ特許庁 図5



トルコ特許庁 図6



特許公報も PDF 形式で取得可能。

(トルコ特許庁 図7を参照)

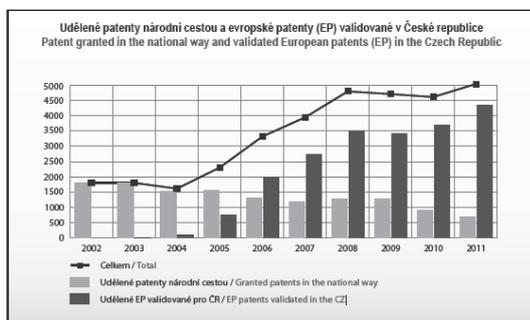


トルコ特許庁 図7

トルコでは、通常の特許の他に「追加特許」と「秘密特許」という出願態様が存在する。また、「実用証」の出願も認められている。

### 3 チェコ特許庁

現在のチェコ共和国は1993年にチェコスロバキアがチェコとスロバキアに分離し成立した国である。NATO、EU、OECDの加盟国で中欧4か国からなるヴィシェグラード・グループの一員でもある。チェコ特許庁の2011年のアニュアルレポートによれば特許出願は増加傾向である。



チェコ特許庁 2011 年のアニュアルレポートより 図8

チェコ特許庁は英語版の画面が準備されている。特許・意匠・商標等の各種データベースもある。特許(実案)は国内特許と国外特許があり、検索に利用できる項目は

以下の通りである。

- ①登録番号
- ②出願番号
- ③ Status (権利の有無)
- ④出願タイプ
- ⑤出願日
- ⑥チェコでの登録日(外国特許)
- ⑦出願公開日
- ⑧特許日
- ⑨公開日
- ⑩優先権主張国
- ⑪優先権主張日
- ⑫優先権番号
- ⑬ PCT 出願番号
- ⑭ PCT 出願の公開番号 (WO)
- ⑮ IPC
- ⑯メイン IPC
- ⑰発明者
- ⑱出願人/権利者
- ⑲発明の名称
- ⑳抄録

また、上記以外にもライセンスの有無や特許種別、キーワードの検索対象の全文にするか等の各種条件を追加して指定することができる。さらに、検索項目の中で Status を指定できるので権利切れ特許を除くことも可能。また、検索結果の一覧で Status が表示されるので1件ごとの詳細表示をする前に特許の権利状況を確認することができる。

(チェコ特許庁 図9~図13を参照)



チェコ特許庁 図9



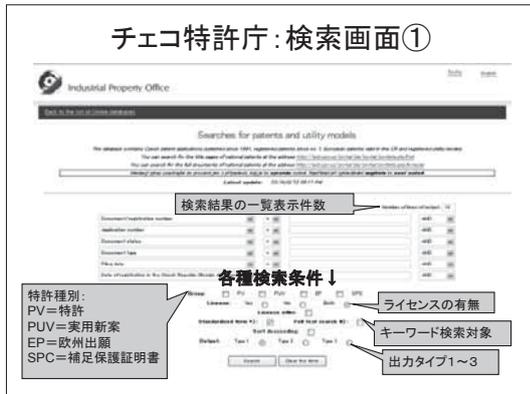
チェコ特許庁 図 10

チェコ特許庁では権利情報について年金支払いなど費用の経過情報も確認可能なので現在生きている特許が否かを閲覧することも可能。

公報も取得可能。(チェコ特許庁 図 14 を参照)



チェコ特許庁 図 14

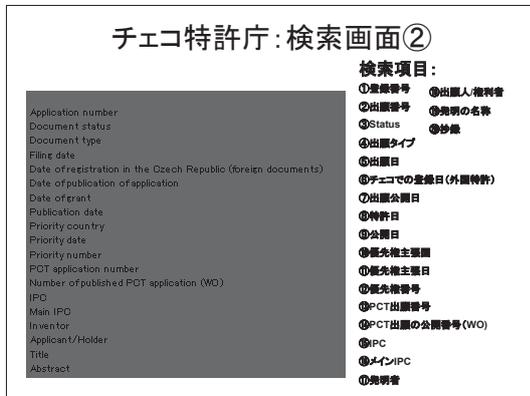


チェコ特許庁 図 11

JETRO の知的財産情報の中にチェコの特許制度に関する良い情報がある。以下 URL で参照。

[http://www.jetro.go.jp/world/europe/cz/invest\\_08/](http://www.jetro.go.jp/world/europe/cz/invest_08/)

## 4 ウクライナ特許庁

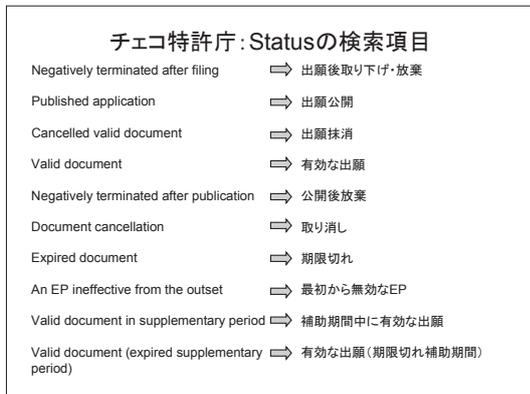


チェコ特許庁 図 12

ウクライナの特許制度では権利期間は出願から 20 年、審査請求制度（出願から 3 年）があり、特許査定から 3 ヶ月で登録、拒絶査定から 2 ヶ月以内に不服申し立てを行うことになっている。

ウクライナ特許庁では英語版も準備されている。

また、特許・意匠・商標などのデータベースも充実している。ウクライナ特許庁の場合、Status は専用のデータベースがあり、それを使って検索を行う。さらに権利切れ特許のみを集めたデータベースもある。検索可能な項目は以下の通り。

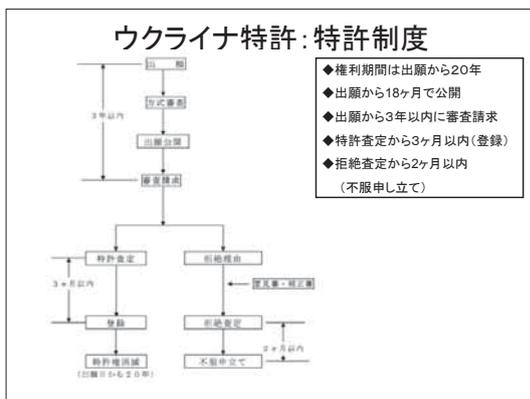


チェコ特許庁 図 13

- ①発明の名称
- ② USSR ドキュメント番号
- ③特許番号
- ④出願番号
- ⑤出願日
- ⑥工業所有権の効力発生日
- ⑦優先権主張番号
- ⑧優先権主張日
- ⑨国コード

- ⑩公開日
- ⑪特許の発効日
- ⑫国際特許分類 (IPC)
- ⑬引用特許
- ⑭ PCT 出願番号
- ⑮ PCT 出願日
- ⑯出願人
- ⑰発明者
- ⑱権利者
- ⑲代理人
- ⑳テキスト検索 (全文・抄録・式)

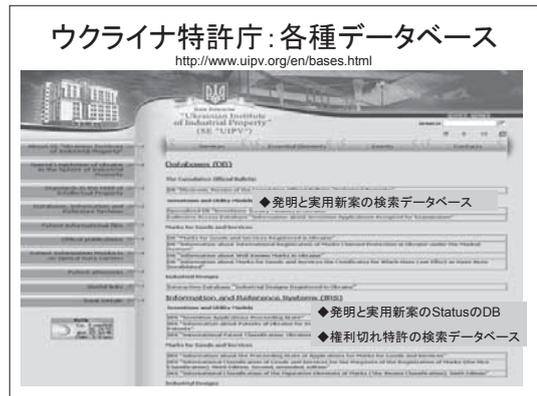
(ウクライナ特許庁 図 15 ~ 図 18 を参照)



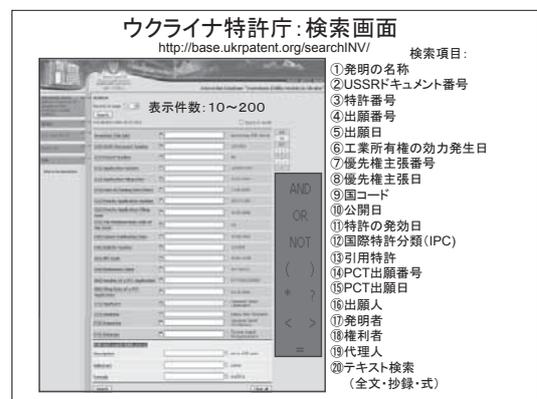
ウクライナ特許庁 図 15



ウクライナ特許庁 図 16



ウクライナ特許庁 図 17



ウクライナ特許庁 図 18

1 件ごとの詳細では抄録もウクライナ語、ロシア語、英語の3ヶ国語で表示される。また、権利情報は別のデータベースで出願番号 (前方一致可能) から検索でき、色による権利状況の表示など工夫された表示となっている。

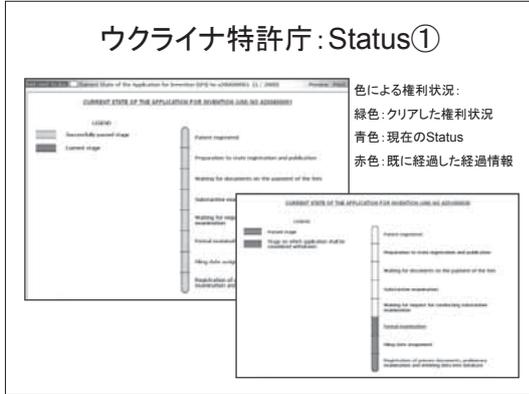
緑色: クリアした権利状況

青色: 現在の Status

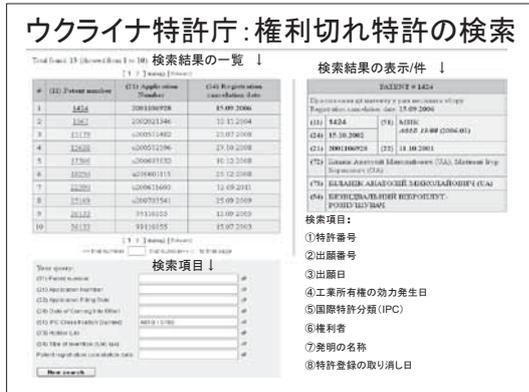
赤色: 既に経過した経過情報

さらに、様々な検索項目から権利切れ特許を検索することも可能である。

(ウクライナ特許庁 図 19～図 20 を参照)



ウクライナ特許庁 図 19

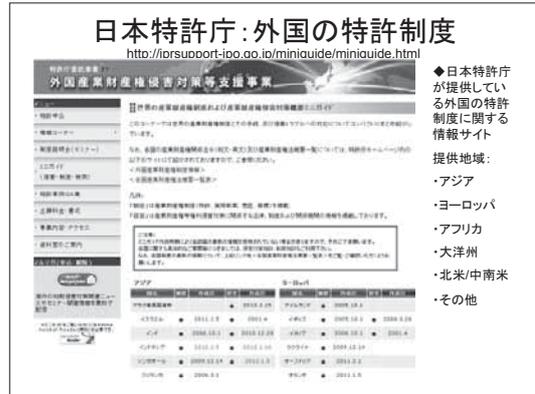


ウクライナ特許庁 図 20

## 5 まとめ

各国の特許庁を調べる時、その国の特許制度を知ることは重要なことである。日本特許庁は海外の特許庁の特許制度を日本語で解説し提供してくれるのでとても助かる。また、JETRO も良い情報を提供してくれている。

(日本特許庁 図 21 を参照)



日本特許庁 図 21

拙著者の HP (DB 航海士) でも各国特許庁の情報を提供しているので参考としてほしい。

<http://www.dbkokaishi.com/>